

妖怪伝説

川越駅
より

歩行距離 約4.4km
所要時間 約1時間28分

本川越駅
より

歩行距離 約3.7km
所要時間 約1時間14分

施設の見学時間は含まれません

川越市街地を歩きながら川越城下町に伝わる、どこか人間くさい妖怪伝説のスポットをめぐり歩くコースです。

シーズン：通年
移動手段：徒歩

市街地エリアで通年楽しめるコース

7 雪塚稲荷神社



(白狐の祟り)
長喜院のすぐ脇にある、小さい静かな神社です。殺してしまった白狐の祟りを鎮めるために建てられ、それが雪の降る日だったことにちなみ「雪塚稲荷神社」の名が付けました。

6 烏山神社



(川越城築城の際、南西の森が視界をさぎり、富士山がみえないことから切り開いたところ、家臣が神隠しに遭ったといわれています。また、願書が出て来たことから太田道灌は築城の吉兆と見え、烏山神社をここに建てたといわれています。)

5 大工町



(かどわかされた川越藩士)
皆川市太郎という者がいましたが、突然失踪しました。江戸まで探しましたが見つかりません。しかし、3年後彼はふらっと帰宅し、「山伏姿の怪人にさらわれ各地を転々とし、声が出せなかった」と話したということです。

4 連雀町駐車場



(怨霊伝説・妻が狼に見えた話)
駐車場のある中原町には、島原の乱の折、松平信綱が捕虜として連れて帰った切支丹の牢屋敷がありました。その跡に建った武家屋敷に住む家族に切支丹の怨霊がとりつき、妻子が狼の親子にみえ、帰宅した武士が切り捨てたという伝説が残っています。

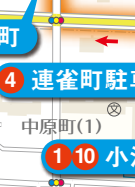
6 烏山神社

(川越城築城の際、南西の森が視界をさぎり、富士山がみえないことから切り開いたところ、家臣が神隠しに遭ったといわれています。また、願書が出て来たことから太田道灌は築城の吉兆と見え、烏山神社をここに建てたといわれています。)



(川越城築城の際、南西の森が視界をさぎり、富士山がみえないことから切り開いたところ、家臣が神隠しに遭ったといわれています。また、願書が出て来たことから太田道灌は築城の吉兆と見え、烏山神社をここに建てたといわれています。)

9 蓮馨寺



(仕返し恐れた遊佐将監)
蓮馨寺は、北条氏康から川越城をまかされた城将大道寺政繁の母の蓮馨大姉が、戦いで倒れた兵士の霊を慰めるために開いた寺です。また、境内には松平信綱の家来・遊佐将監が墓石のかわりに建てた遊佐地蔵があります。この地蔵は、島原の乱の折り、処刑した3万7千人の門徒の復讐をおそれたためではないかとされています。

8 大正浪漫夢通り



(仕返し恐れた遊佐将監)
蓮馨寺は、北条氏康から川越城をまかされた城将大道寺政繁の母の蓮馨大姉が、戦いで倒れた兵士の霊を慰めるために開いた寺です。また、境内には松平信綱の家来・遊佐将監が墓石のかわりに建てた遊佐地蔵があります。この地蔵は、島原の乱の折り、処刑した3万7千人の門徒の復讐をおそれたためではないかとされています。

7 雪塚稲荷神社



(白狐の祟り)
長喜院のすぐ脇にある、小さい静かな神社です。殺してしまった白狐の祟りを鎮めるために建てられ、それが雪の降る日だったことにちなみ「雪塚稲荷神社」の名が付けました。

6 烏山神社



(川越城築城の際、南西の森が視界をさぎり、富士山がみえないことから切り開いたところ、家臣が神隠しに遭ったといわれています。また、願書が出て来たことから太田道灌は築城の吉兆と見え、烏山神社をここに建てたといわれています。)

7 雪塚稲荷神社



(白狐の祟り)
長喜院のすぐ脇にある、小さい静かな神社です。殺してしまった白狐の祟りを鎮めるために建てられ、それが雪の降る日だったことにちなみ「雪塚稲荷神社」の名が付けました。

6 烏山神社



(川越城築城の際、南西の森が視界をさぎり、富士山がみえないことから切り開いたところ、家臣が神隠しに遭ったといわれています。また、願書が出て来たことから太田道灌は築城の吉兆と見え、烏山神社をここに建てたといわれています。)

5 大工町



(かどわかされた川越藩士)
皆川市太郎という者がいましたが、突然失踪しました。江戸まで探しましたが見つかりません。しかし、3年後彼はふらっと帰宅し、「山伏姿の怪人にさらわれ各地を転々とし、声が出せなかった」と話したということです。

4 連雀町駐車場



(怨霊伝説・妻が狼に見えた話)
駐車場のある中原町には、島原の乱の折、松平信綱が捕虜として連れて帰った切支丹の牢屋敷がありました。その跡に建った武家屋敷に住む家族に切支丹の怨霊がとりつき、妻子が狼の親子にみえ、帰宅した武士が切り捨てたという伝説が残っています。

3 出世稲荷神社



(人喰狼避けた稲荷のお告げ)
いちようぼのお稲荷さんと言われます。昔、雑魚売りが商店前や路地に必ずお参りしていて、ある時、朝早く発とうとすると、狐が夢に現れ「早くに発つと良くないことがある」とお告げが狼の難から逃れたとの伝説があります。

入館料、開館時間、定休日等は、各施設にお問い合わせ下さい。

9 蓮馨寺



(仕返し恐れた遊佐将監)
蓮馨寺は、北条氏康から川越城をまかされた城将大道寺政繁の母の蓮馨大姉が、戦いで倒れた兵士の霊を慰めるために開いた寺です。また、境内には松平信綱の家来・遊佐将監が墓石のかわりに建てた遊佐地蔵があります。この地蔵は、島原の乱の折り、処刑した3万7千人の門徒の復讐をおそれたためではないかとされています。

8 大正浪漫夢通り



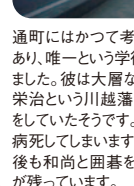
(仕返し恐れた遊佐将監)
蓮馨寺は、北条氏康から川越城をまかされた城将大道寺政繁の母の蓮馨大姉が、戦いで倒れた兵士の霊を慰めるために開いた寺です。また、境内には松平信綱の家来・遊佐将監が墓石のかわりに建てた遊佐地蔵があります。この地蔵は、島原の乱の折り、処刑した3万7千人の門徒の復讐をおそれたためではないかとされています。

7 雪塚稲荷神社



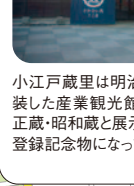
(白狐の祟り)
長喜院のすぐ脇にある、小さい静かな神社です。殺してしまった白狐の祟りを鎮めるために建てられ、それが雪の降る日だったことにちなみ「雪塚稲荷神社」の名が付けました。

6 烏山神社



(川越城築城の際、南西の森が視界をさぎり、富士山がみえないことから切り開いたところ、家臣が神隠しに遭ったといわれています。また、願書が出て来たことから太田道灌は築城の吉兆と見え、烏山神社をここに建てたといわれています。)

5 大工町



(かどわかされた川越藩士)
皆川市太郎という者がいましたが、突然失踪しました。江戸まで探しましたが見つかりません。しかし、3年後彼はふらっと帰宅し、「山伏姿の怪人にさらわれ各地を転々とし、声が出せなかった」と話したということです。

8 大正浪漫夢通り



(仕返し恐れた遊佐将監)
蓮馨寺は、北条氏康から川越城をまかされた城将大道寺政繁の母の蓮馨大姉が、戦いで倒れた兵士の霊を慰めるために開いた寺です。また、境内には松平信綱の家来・遊佐将監が墓石のかわりに建てた遊佐地蔵があります。この地蔵は、島原の乱の折り、処刑した3万7千人の門徒の復讐をおそれたためではないかとされています。

7 雪塚稲荷神社



(白狐の祟り)
長喜院のすぐ脇にある、小さい静かな神社です。殺してしまった白狐の祟りを鎮めるために建てられ、それが雪の降る日だったことにちなみ「雪塚稲荷神社」の名が付けました。

6 烏山神社



(川越城築城の際、南西の森が視界をさぎり、富士山がみえないことから切り開いたところ、家臣が神隠しに遭ったといわれています。また、願書が出て来たことから太田道灌は築城の吉兆と見え、烏山神社をここに建てたといわれています。)

5 大工町



(かどわかされた川越藩士)
皆川市太郎という者がいましたが、突然失踪しました。江戸まで探しましたが見つかりません。しかし、3年後彼はふらっと帰宅し、「山伏姿の怪人にさらわれ各地を転々とし、声が出せなかった」と話したということです。

4 連雀町駐車場



(怨霊伝説・妻が狼に見えた話)
駐車場のある中原町には、島原の乱の折、松平信綱が捕虜として連れて帰った切支丹の牢屋敷がありました。その跡に建った武家屋敷に住む家族に切支丹の怨霊がとりつき、妻子が狼の親子にみえ、帰宅した武士が切り捨てたという伝説が残っています。

入館料、開館時間、定休日等は、各施設にお問い合わせ下さい。

川越駅	本川越駅
約1.1km 徒歩約22分	約0.4km 徒歩約8分
1 小江戸蔵里	約0.3km 徒歩約6分
2 通町	約0.4km 徒歩約8分
3 出世稲荷神社	約0.3km 徒歩約6分
4 連雀町駐車場	約0.2km 徒歩約4分
5 大工町	約0.5km 徒歩約10分
6 烏山神社	約0.3km 徒歩約6分
7 雪塚稲荷神社	約0.5km 徒歩約10分
8 大正浪漫夢通り	約0.3km 徒歩約6分
9 蓮馨寺	約0.5km 徒歩約10分
10 小江戸蔵里	